

100年先も音楽はあるの？

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさん、音楽は好きですか？聞いたり、歌ったり、演奏するのも楽しいですね。
 音楽は、うれしい気持ちや悲しい気持ちを表せたり、心を明るくしてくれたり、元気をくれたりします。
 そんな音楽の文化を100年後まで守るために、さまざまな取り組みを行っているのが、
 ピアノをつくっている会社「河合楽器製作所」です。
 河合楽器製作所では、これまで受けついできた技術を大切にしながら、ピアノづくりを行っています。
 それだけではなく、音楽の楽しさを広めるために、音楽教室を開いたり、インターネットでも音楽のみりよくを発信しています。
 さらに、コンクールを通して未来のピアニストを育てたり、演奏家のみなさんのサポートをしたり、
 音楽に関わる人たちを応援しているんです。人生によりそってくれる音楽。
 その文化を未来へつないでいくために、私たちにできることは何でしょうか？考えてみましょう。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：伝統的な技術でつくられたカワイのピアノ
 (河合楽器製作所公式HPより)

学校での合唱や音楽の授業、テレビや動画で流れる歌、まちで聞こえてくる曲など、音楽は私たちのくらしのすぐそばにあります。心を明るくしたり、元気をくれたりする音楽は、人々の「喜怒哀楽」という気持ちを表現し、人生に寄り添ってくれる大切な文化だと言えます。その音楽の文化を、未来まで大切につないでいこうとしているのが、ピアノをつくっている会社「河合楽器製作所」です。河合楽器製作所では「100年後も続く、音楽文化を。」という思いのもと、さまざまな取り組みを行っています。そのひとつが、ピアノづくりです。長い歴史の中で受けつがれてきた伝統を大切にしながらピアノをつくり、その技術を守り続けています。



画像参照：河合楽器製作所主催のピアノコンクールのようす

河合楽器製作所では、ピアノをつくる会社として、音楽文化の発展にも力を入れています。たとえば、音楽教室で子どもたちに音楽を通じて表現することの楽しさを伝えたり、日本や海外でコンサートやコンクールを開いたり、インターネットで発信したりと、たくさんの人たちに音楽のすばらしさをとどけています。また、ピアニストや調律師の育成、演奏家のサポートなど、音楽文化を支える人たちの応援もしています。ピアノをつくるだけでなく「音楽文化の担い手」として、その役わりを広げている河合楽器製作所。その取り組みの一つひとつが、心に寄り添って人生を豊かにしてくれる音楽の文化を守り、私たちの豊かなくらしを未来までつないでいくことにもつながっています。

キーワード

喜怒哀楽

「喜」はうれしい、「怒」は怒る、「哀」は悲しい、「楽」は楽しいという、人のさまざまな気持ちのことです。

演奏家

ピアノやバイオリンなどの楽器を演奏したり、音楽を表現したりする人のことです。

調律師

ピアノなどの楽器の音を整えて、美しい音が出るようにする専門家のことです。

対象ゴール



みなさんにできること！

曲を聞いたり、歌ったりして、音楽にふれる時間を大切にしてみましょう。

おさらい

- 音楽は人々の気持ちに寄り添い、人生を豊かにしてくれる大切な文化。
- 河合楽器製作所では、音楽の文化を100年後まで守っていくためにさまざまな取り組みをしている。
- 音楽のすばらしさを広げたり、支える人たちを育てることが、未来の音楽文化につながっている。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

